

つくえが使いやすくなる プロダクトデザイン

プロナビゲーター紹介



プロダクトデザイナー/
コピーライター

北恭子(キョウコ先生)

九州大学芸術工学部工業設計学科卒業。プロダクトデザインとキャッチコピーを軸に、大手お菓子メーカー、アパレル、嗜好品メーカーの新商品開発や事業企画を担当。NHKのものづくり番組へ講師として出演。プライベートでは"二十歳までを見守るお年玉袋"など自身の製品の生産・販売も行っており、制作した製品は表参道ヒルズで完売となる。日常の観察から課題を発見、そこから新たな発想を生み出す。

ワークの概要

「目的」にあった「形」を考えるというプロダクトデザインのメソッドを学び、それに沿ったモノづくりを試みる。【DAY1】動物や、教室の中という身近なところから、導入する。【DAY2】WS上で、目的を考える⇒そのためには、どんな形が良いか?というプロダクトデザインのやりかたを実践。【DAY3】今タームのテーマである「机が使いやすくなるプロダクト」を考える。プロトタイプ(試作品)づくりを通じて、試行錯誤して形にしていくことを学ぶ。【DAY4】本番の素材で完成させる。



プログラム内容

第1回

【タイトル】 目的に合ったカタチを知る

【概要】 動物や、教室の中という身近なところから、目的に応じたカタチをつくるというプロダクトデザインの概念の理解をはかる。

第2回

【タイトル】 目的に合ったカタチを考える

【概要】 目的を考える⇒そのためには、どんな形が良いか?というプロダクトデザインのやりかたをワークシートで実践。

第3回

【タイトル】 つくえが使いやすくなるプロダクト ①ためしにつくる

【概要】 本プログラムのテーマである「机が使いやすくなるプロダクト」を考える。プロトタイプ(試作品)づくりを通じて、試行錯誤して形にしていくことを学ぶ。

第4回

【タイトル】 つくえが使いやすくなるプロダクト ②仕上げる

【概要】 「つくえが使いやすくなるプロダクト」を本番の素材で完成させる。発表を通じて、ほかの人の考え方を知る。